

学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取組み等）

- 1 学校経営
学校教育目標達成のため、管理職、教職員が共通の意思形成を図り、生徒一人ひとりの理解を深め、学校づくりを推進することができている。学校評価の結果をふまえて、更なる改善に努める。
- 2 学習指導
すべての教科において、基礎・基本を重視した授業を展開している。漢字にルビ打ちを行うなど生徒の実態に沿った授業を行っている。
生徒のアンケート結果によると、ものづくりについての意欲・関心が低い生徒もあり、実習教科や課題研究などにおいて、意欲や関心が深まるように工夫をする必要がある。さらにタブレット端末を使用した授業に積極的に行動に移していく。
- 3 生徒指導
1年生に対する家庭訪問や全学年による個人面談を積極的に実施し、生徒理解に努めることができた。また、毎月生徒の情報交換会を実施し情報を共有することで、組織的な指導を行うことができた。
始業前の挨拶や、授業時間中の廊下監督業務を実施し、生徒の状況を観察し、問題行動の未然防止に努めることができた。今後も基本的な生活習慣の確立、ルールやマナーの遵守、いじめの未然防止に向けた取り組みを継続して行っていく。
- 4 進路指導
アルバイト等の就労を奨励しているが、全校生徒の約6割が就業を終えてからの登校をしている。今後も生徒の状態に応じて効果的な進路情報を提供するとともに面談指導、書類作成指導などを丁寧に行い、生徒の卒業後の進路実現につながるような支援を継続する。
- 5 特別活動等
定時制のため利用設備に制限があるものの、2か月ごとに文化体育活動をHRの時間を利用して実施し、ボウリング大会や映画鑑賞など校外においての活動も行うことができた。生徒が興味・関心をもって参加できる特別活動を計画・実施することで、自立性や社会性の向上につながる活動を行う。
- 6 学校図書館
実質的に図書館の利用はできないものの、読書活動のHRを年2回実施することで、読書への意識づけの指導に取り組んではいるが、読書への意識は低い。生徒が興味を湧くような指導を工夫しながら継続して行う。
- 7 保健・安全指導
養護教諭作成の保健だよりや栄養士作成の給食だよりを配布することにより、時期に応じた健康管理や食育についての情報発信に努めることができている。今後も、保健指導等のみならず、校内外の事故防止に努める。
- 8 人権教育
各学期に生活アンケートとともに人権アンケートを実施し、生徒の現状把握に努めている。定期考査中や授業時間中の廊下監督業務を実施することで、学校生活における生徒観察を効率的に行うことができている。
職員研修も実施しているが、今後も継続して行い、教員の人権意識の更なる向上を図る。
- 9 環境教育
教員や業務員による校内清掃を毎日実施することで、学習環境を保っている。今後は、実習終了後の清掃や後始末の習慣を日々の教室の清掃や整理整頓の意識につなげ、公共性や環境保全の意識向上につなげていく。
- 10 事務・管理
授業開始前と授業時間、放課後の答弁性による校舎内巡視を継続することで、施設・設備の安全点検を行い、施設・設備の保全に努める。
- 11 その他学校の取組
入学してくる生徒の多様化の中、地域の中学校や関係機関との連携を発展させながら、入学してきた生徒一人ひとりに丁寧な対応を行う。卒業後は社会へ自信をもって踏み出せるように、指導・支援を行う。